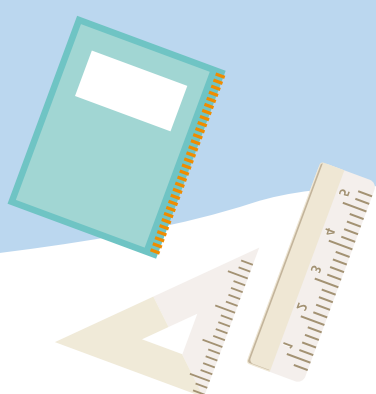




質問箱 Q & A



変域外のグラフの表し方

全学年



uestion

変域のあるグラフをかく場合、変域外はどのように表せばよいのでしょうか？



answer

変域のあるグラフをかくときの変域外の表し方については、破線で示す場合もあれば、全く表記しない場合もあり、特に表し方のきまりはありません。

啓林館の教科書では、変域外の部分を破線で示している場合もあります。これは、方眼がないところにグラフをかいた場合や、変域の範囲内の部分で軸と交わらなかったりした場合でも、グラフに表した関数の式がわかるようにするためです。中学校の関数の指導では、表、式、グラフを相互に関連づけて、2つの数量の変化や対応の特徴をとらえることが大切なので、変域のあるグラフからも式がわかるように、必要に応じて、変域外を破線で示しています。

一方，試験などで「変域のある関数のグラフをかくように指示された場合に，変域外の部分まで含めて破線などでかかないと不正解かどうか」ということについては，本来，グラフは視覚的にとらえることによって，関数の変化の様子をとらえやすくするためにかくものであり，教科書はその姿勢を養うためにグラフの利用をとりあげていますので，それぞれの場面に応じて変化をとらえるのに支障がないグラフがかけていれば，それでよいと考えています。もちろん，変域の範囲内だけがかけられているグラフでは，正しいかどうかの判断がつかない場合もあるので，かならず範囲外の部分も破線でかくという指導を否定するものではありません。いずれにしても，表，式，グラフを相互に関連づけ，関数関係を見いだし表現し考察することを通して，関数的な見方や考え方を養うという関数指導のねらいにそった指導や評価を行うことが大切です。

＼ 学びがいっぱい！ ／

情報配信サービス

中学校 **エデュアル**